

特定非営利活動法人 わっか

2019年度月報告書

2019年  
6月

だれもがまるごと  
受け止められる  
社会をつくる



NPO 法人 わっか

# NPO 法人わっかとは

だれもが、まるごと受けとめられる社会 を目指して活動を行う団体です。

現在の、子どもを取り巻く環境について

子どもたちは「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。いまの子どもたちは、自分では変えることができない社会環境や大人の意識の変化により「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。

大人の価値観による評価、他者との比較や数字で表せる結果で、子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、さらには、地域社会においても、その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっています。また、学校、学習塾、習い事、スポーツクラブで多忙な毎日を送り、仲間も時間も空間もなくなりつつあります。

私たちは、まるごと受けとめられる場づくりをしたいという思いで

**居場所づくり事業** や **学び合い事業** などを行っています。



月ようわっか  
毎週月曜日  
15:30~20:00

## 6月のべ人数

大人 19 名 ( 11 名 ) 子供 119 名 ( 63 名 )

※ ( ) 内の人数はご飯を食べた (持ち帰りも含む) 人数

3日 大人 1 名 ( 2 名 ) 子ども 27 名 ( 13 名 )

メニュー：ごはん、えのきと油揚げの味噌汁、コーンコロッセ、ブロッコリーとベーコンの炒め物  
.....

10日 大人 4 名 ( 5 名 ) 子ども 30 名 ( 21 名 )

メニュー：ごはん、ちくわのみそ汁、コーンコロッセ、ミニハンバーグ  
.....

17日 大人 7 名 ( 2 名 ) 子ども 30 名 ( 19 名 )

メニュー：ごはん、豆腐の味噌汁、厚揚げの野菜炒め、キャベツの塩昆布和え  
.....

24日 大人 7 名 ( 2 名 ) 子ども 32 名 ( 13 名 )

メニュー：ごはん、大根の味噌汁、油揚げ餃子、ニラもやし炒め



## 【nobi と Asuka の思い】

まあいい食堂のごはんは、自分でよそおう子もいれば「あすかよそってー」と待つ子もたまに列ができて「早くー」と急かす声があるので、自分でよそっていいよと、言うのですが「えー、あすかよそって」と言ってくれるので

「ごはん少なめー」「しめじは入れないでー」「玉ねぎ抜いてー」「汁はたくさんいれてー」要望を聞きながらよそっていきます。



この「ご飯をよそう」は「装う」という漢字になります。

この「装う」の意味を調べると

- 1 身なりや外観を整える。また、美しく飾る。
- 2 表面や外観を飾って、他のものに見せかける。ふりをする。
- 3 支度をする。準備をする

という、意味の他にも

●飯や汁を器に盛る。よそる。

●飾りととのえる。しつらえる。

●船出・出発の準備・整備をする。 (コトバンクより)

子どもたちに、ご飯を装って渡すというのは彼ら彼女たちの次なる何かへの、

出発や船出の仕度のお手伝いができているのかな、と、そうだったらしあわせだな、ふと、思いました。

日ようわっか  
10:00~15:00

6月23日 メニュー ピザ

大人 7 名 子ども 13 名



この日は、3人の大学生が遊びにきてくれました。子どもたちが、自分たちが普段している遊びを教えるんです、それを一緒にしているときの子どもたちの表情がとっても、いいんです。

## waccafe 10:00~14:00 金曜日

7、14、21、28日 のべ 8名

.....

珈琲の落ちる時間を楽しんでいる自分に、ふと気づき、ゆっくりと呼吸しはじめる…来る人がそんな時間や空間になればという思いを込めた waccafe。

## のっばらわっか 10:00~夕方 (子どもたちが帰るまで)

16日 8名

.....

野天の下、広い野原で好きずきに過ごす。雨に見舞われた時にはずぶぬれになりながら遊び、強風の時はパラソルを広げて自分も浮いてみたり。山に登りだす子、火を起こしに夢中の子、本を読んで動かない子、ごっこ遊びをはじめの子、自分がやってみよう！にチャレンジできる、そんな場です。



## 寺子屋わっか 毎週水曜日 18:30 ~ 20:00

6、12、19、26日 のべ 13名

.....

「テレビの音も周りもうるさすぎる！」 「宿題する場所がほしい！」 大人数兄弟の子が声を上げた事からはじまった寺子屋わっか。小学生から中学生の子ども達がスタッフと一緒に勉強しています。

6月7日、14日、21日、28日

子ども 2名

.....

< 事業の目的 >

現代の子どもたちは自分を”まるごと”受け止められ”ありのままの自分でいいんだ”と感じる経験が少なくなっている。それは、家族形態や就労環境の変化、地域社会・教育環境の変化という子どもたち自身では変えられない大人の都合によるものである。その影響を子どもたちが受け、日々苦しさを感じている子どもがいることを我々は4年間の子どものたちの居場所づくりを通じて実感している。いわゆる自尊心の低さにより日々の生活や勉強にしんどさを抱える子どもたちに出会ってきている。

子どもがまるごと受けとめられる経験をし、夢中になれるものを見つけ、安心して自分が夢中になるものをやりぬくことで、結果的に成長することを目的とした事業です。そのために、小中学生に、彼らが夢中になるものを、やりたいように突き詰めるサポートを、一緒に過ごすスタッフやと子どものやりたいことの分野における専門家が行う。スタッフと専門家が、子どものやりたいことを見守りつつ必要に応じて、学習面、生活面までのサポートし結果として子どもの学力の向上を目指します。



▶Facebook ページ 『子どもの夢中全力サポート』にて来ている子が日々様子を発信しています。

# 6月に頂いた みなさまからの 寄付



## 物品でのご寄付

- おかし (青岸寺さん)
- ハンバーグ、食材など (Nさん)
- 食材など (Kさん)

## 資金でのご寄付

- 継続ご寄付 前田さん
- 単発ご寄付 Kさん

大人の価値観による評価、他者との比較や数字で表せる結果で、  
子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、さらには地域社会においても、その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっている。

そんな環境に現代の子どもはいます。  
わっかは、いつも同じ人が開けている。  
そこでは自由に過ごせ、なぜかほっとできる。  
そんな場所があることで日々の生活を送ることができる子どもたちがいます。

これからの、わっかの活動を支えてください。  
すでに、わっかを応援していただいているにも関わらず、このようなことを申し上げるのは、目の前の子どもたちの日々を継続的に続けるためには資金が必要だからです。

何卒、よろしく願いいたします。

(代表理事 振角大祐)

**寄付のお申し込みはコチラから！**  
電話  
**090-6917-7319 (振角)**

WEB  
子どもの居場所 **わっか** で検索

QRコードかから→  
(マンスリーサポーター)





団体名 特定非営利活動法人 わっか

住所 〒521-0012 滋賀県米原市米原 178-5

電話 070-1803-1059

メール [wacca235@gmail.com](mailto:wacca235@gmail.com)

WEB 「わっか 米原」で検索 (<http://bouken-asobiba.jimdo.com>)

・ Facebook ページ 「こどもと大人の居場所 わっか」で検索 <https://www.facebook.com/wacca2014/>

・ ブログ : nobi と asuka アメブロ「月ようわっか」で検索 <https://ameblo.jp/wakka-moon/>